

「第3回 アイソトープ総合センターセミナー」

放射線（SPECT・PET）を利用した最新の in vivo イメージング技術

日時：2010年9月13日 15:00～16:30

場所：東京大学 山上会館大会議室

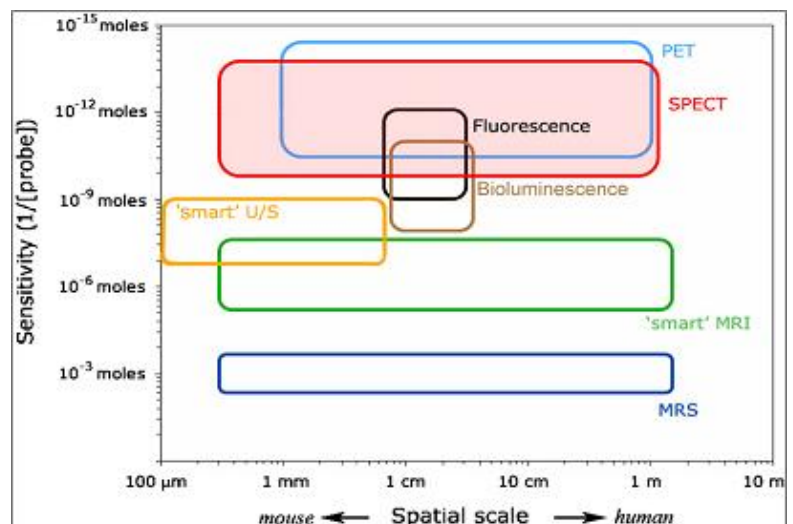
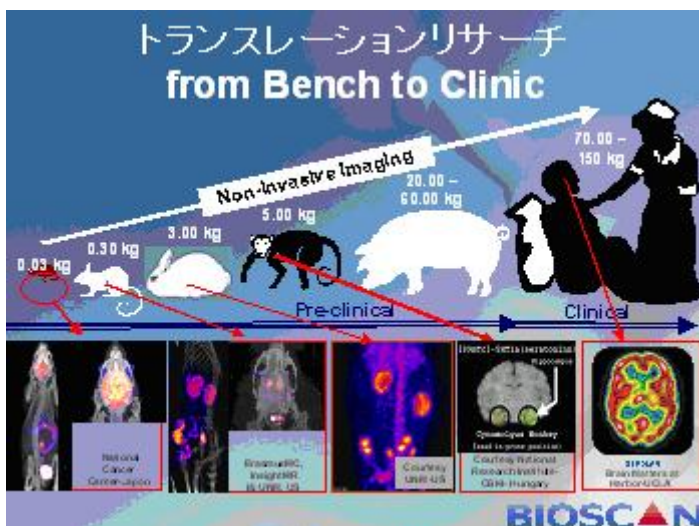
演者：Staf C. van Cauter (BIOSCAN 社)



< 講演内容 >

現在 PET、SPECT、CT、MRI、OPTICAL 等様々な技術を用いた in vivo イメージングが様々な研究領域で使用されています。これらの中でも、感度や定量性の点で優れ、最近特に注目を浴びてきているトランスレーショナルリサーチに最適な PET、SPECT 技術を用いたイメージング技術を紹介していただきます。

PET、SPECT 技術では、生体内からの PET 核種或いは SPECT 核種からのガンマ線を測定することにより、動物体内での物質挙動や物質代謝状態を非侵襲的に生かしたまま高感度かつ高解像度で測定することが可能です。今回のセミナーでは、PET 及び SPECT 技法の原理及び役割をご紹介した上で、腫瘍学、神経学、循環器学、再生医療への適用についての説明を行います。さらに今回の講演では、一般的な放射線管理施設でも汎用されるトレーサー核種である ^{125}I を使用したアプリケーションも紹介していただきます。



問い合わせ先:

東京大学アイソトープ総合センター 研究開発部 秋光 佳佳
内線 23057
e-mail: akimitsu@ric.u-tokyo.ac.jp